

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称	在宅障害者支援事業費[家具転倒防止器具等取付事業]								
予算科目	款 3	民生費	項 1	社会福祉費	目 4	障害者福祉費	事業番号 7		
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし)								
	<input type="checkbox"/> 課内庶務等 <input type="checkbox"/> 休止したもの <input checked="" type="checkbox"/> 廃止したもの								
担当部署・課長名	障害福祉		課	障害福祉	係	課長名	大法 努		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。					施策番号	2 - 3			
【施策名】 障害者福祉の推進					総合計画書 (ページ)	55			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 下記のいずれかの者で構成された世帯 ・身体障害者手帳2級以上の交付を受けた者 ・愛の手帳の交付を受けた者 ・精神保健福祉手帳2級以上の交付を受けた者			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 対象となる障害者数(身体2級以上、愛の手帳、精神2級以上)					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 障害者の生命及び財産を地震災害から守り、障害者の生活の安全を図る。			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 支給世帯数/対象となる障害者数					
	③ そのために何をしましたか。 高齢者、障害者のみで構成された世帯の家具等に、家具転倒防止器具の取付を行う。 つっぱり棒、家具転倒防止板等の一定の種目の中から利用者が希望する器具を選定し、シルバー人材センターが取付を行う。利用者負担なし。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 支給世帯数					
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	
	対象指標	①の数値	人	2,596	2,630	2,691			
	成果指標	②の数値	%	0.077%	0.000%	0.074%			
	目 標	②の目標値							
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。) 廃止									
3 経費	活動指標	③の数値	世帯	2	0	2			
	財源	事業費(実績)		円	30,755	0	38,213	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
		一般財源	円	14,755	0	19,107			
		特定財源	円	16,000	0	19,106			
		(うち受益者負担)	円						
		人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.01	0.01	0.01		
所要人数(再任用)	人								
職員人件費(再任用以外)	円	82,440	0	83,800					
職員人件費(再任用)	円								
事業費+人件費		円	113,195	0	122,013				
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く								
5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く								
	※令和2年度をもって事業を廃止する。								